



三安橋(メロディ橋)



DATA・BOARD 21



- ① 京都府舞鶴市永東町
- ② 延長30m, 幅員12m
- ③ 音響装置, 照明灯
- ④ タイル, メロディブロック
- ⑤ お花見歩行者天国

舞鶴市を流れる与保呂川沿岸一帯は桜並木が美しく、市民の憩いの場となっている。そこで舞鶴市では同川沿いを「桜と川に親しむ道づくり」の方針のもとに、その核として三安橋周辺の整備を行った。橋の架け替えにあたっては、桜並木との調和を図り、旧橋の親柱として使われていた橋の名由来の歌碑も生かし、照明灯を設置して三安橋はタイル張り石材調高欄の美しい橋に生まれ変わった。

また、この橋はメロディ橋とも呼ばれ、打楽器タイプの音響装置を備えている。高欄のアルミ製の音板を備え付けのマレット(ばち)で叩きながら渡っていくと、「ゆうやけこやけ」と「うみ」のメロディが響き渡り、子供たちや地域の人々に親しまれている。